※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベートディスカッションⅠ	1	2	e ステ（コスモピア）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前期では様々なトピック関する Presentaion が中心です。後期ではそれに加えて Parliamentary Debate（即興型ディベート）を行い、英語の論理性・一貫性をさらに身につけていきます。そうした英語の力を下支えするのが１年から続けている多読です。今年も毎日続けることで大きな力になります。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話される講義やスピーチ、会話を聞いて論旨を捉えた上で、概要、要点、詳細といった情報を目的に応じて捉えることができる。	・評論、エッセイなどを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら全体の概要を把握することができる。 ・多読等の活動を通じて大量のインプットを取り入れつつ、まとまった文章を辞書に頼りすぎることなく、一定の速度で読み続け、話の展開、書き手の意図を把握することができる。	・特定の情報や自分の考えなどについて資料を活用しながら相手に説明したり、また相手の情報や考えに対して質問するなど、情報交換や意見交換したり、議論することができる。 ・様々なトピックに関して、他者の意見を聞き、自分の意見を正確に表明し、円滑に会話を進めることができる。	・興味・関心のあるトピックに関して具体的な理由を示しながら説得力をもって、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・使える語句や表現を繋いで、自分にまつわる事柄について、話を広げながらある程度詳しく語ることができる。	・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で、時間をかけた修正を経て書くことができる。 ・与えられたトピックに関して、少しの時間の準備で自分の意見を明確にしながらまとまりのある英文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、話すこと（やり取り）の領域を評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	学習内容	評価規準	評価方法
前期	・Presentation ・Group discussion	a.　・教員とのやり取りや多読活動を通して、学校生活や日常生活、アカデミックな場で使用する語彙及び表現を習得している。 ・自分の気持ちや考えなどを即興で伝える技能を身に付けている。	・授業内活動+観察 ・授業内課題
		b.　様々な社会生活に関わるテーマについて自分の意見を形成し、それをペアやグループでのディスカッションを通して、より深めることができている。	・授業内活動+観察 ・授業内課題
		c.　教員や生徒とのやり取り等を通して、言語の背景にある文化について学んだことや、各テーマについての自分の考えを、積極的にペアに伝え合い、それについて主体的に書こうとしている。	・授業内活動+観察 ・授業内課題
後期	・Parliamentary debate ・Group discussion	a.　・教員とのやり取りや多読活動を通して、学校生活や日常生活、アカデミックな場で使用する語彙及び表現を習得している。 ・自分の気持ちや考えなどを即興で伝える技能を身に付けている。	・授業内活動+観察 ・授業内課題
		b.　様々な社会生活に関わるテーマについて自分の意見を形成し、それをペアやグループでのディスカッションあるいはディベートを通して、論理性に注意して伝えることができている。	・授業内活動+観察 ・授業内課題
		c.　教員や生徒とのやり取り等を通して、言語の背景にある文化について学んだことや、各テーマについての自分の考えを、積極的にペアに伝え合い、それについて主体的に書こうとしている。	・授業内活動+観察 ・授業内課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度